

長野県御代田町

No.117

令和元年
9月定例会
2019

みよた 議会 だより



アートの秋を味わう
浅間国際フォトフェスティバル



主な内容
議会新体制…P2~3
平成30年度決算…P4
議員が町政を問う…P9~14

正副議長就任あいさつ

議長
五味 高明

この度、9月定例会での議会構成にあり、議員各位のご推挙をいただき、令和元年という記念すべき年に町議会議長の要職に就任できましたことは、身に余る光栄と存じます。

私は、議員経験も浅く、また浅学非才であります。誠心誠意、最善の努力を尽くして、中立公正を旨として、円満で活発な議会運営を目指してまいります。

副議長
市村 千恵子

この度、議員の皆様のご推挙により、副議長に選ばれましたことは、身に余る光栄に存じますと同時に、責任の重さを痛感しています。

議員としてさらに努力をし、これまで

存じますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、議会は議員だけでは、運営していきません。議会事務局、町長をはじめ執行部のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

歴代の議長によって守られてきたよき伝統は継承しつつ、議会に必要なさらなる議会改革の推進により、開かれた魅力ある議会の構築、また町勢発展に微力を尽くす覚悟です。

議会は町民のために審議をし、決定をしていかなければならないので、重ねて町民の皆さまのご協力をお願い申し上げます。まして、就任のあいさつといたします。

先輩議員の皆さんが積み上げてきた議会改革をさらに推進して、開かれた議会、身近な議会をめざし、チェック機能としての責務を果たしていきたいと思っております。町政発展のために微力ですが、全力で議長を補佐し、公平公正な立場で副議長の任を全うしたいと思っています。町民の皆様にはなにとぞご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

議長退任あいさつ

前議長
小井土 哲雄

一昨年の9月定例会において、議員各位のご推挙をいただき、町議会議長の栄職に就かせていただきました。

先輩、同僚議員から格別のご支援ご協力をいただき、また、町長をはじめ議会事務局、理事者各位から手厚いご援助とご指導を賜り、大過なくその職責を果たし得ましたことは、まことに感激にたえず、心から厚くお礼を申し上げます。

就任中、昨年5月に新庁舎での業務開始、本年の2月には新町長誕生と、変革の慌ただしい時期であったと思います。

そのような中、新議場での初議会前には、御代田中学校吹奏楽部による議場コンサート開催、予算決算時には両委員会への傍聴参加、全員協議会の毎月開催、広報広聴常任委員会の設置、町議会単独での研修会など、多量にも議会改革が進んだように感じます。今後益々、町長のリーダーシップと副町長のサポートに期待し、議員の皆様においても町政発展のため、なお一層お力添えをいただくよう心からお願ひ申し上げます。議長退任のあいさつといたします。

新体制 決まる

町民建設経済常任委員会

所管

町民課・産業経済課・建設水道課



内堀喜代志

副委員長



池田 るみ

委員長



徳吉 正博



茂木 重幸



古越 弘



仁科 英一



五味 高明



荻原 謙一

副委員長



井田 理恵

委員長



小井土哲雄



古越雄一郎



笹沢 武



池田健一郎



市村千恵子

総務福祉文教常任委員会

所管

総務課・企画財政課・税務課・会計課
保健福祉課・教育委員会・消防課・議会事務局
他の委員会に属さない事務



荻原 謙一

委員長



内堀喜代志

副委員長



仁科 英一

委員

広報広聴常任委員会（一部改選）

所管

議会の広報広聴に
関すること

佐久広域連合会などの議員を決定

議会運営委員会

- 委員長 古越 弘
副委員長 笹沢 武
委員 荻原 謙一
内堀 喜代志

議会選出監査委員

小井土 哲雄

一部事務組合議会の議員

- 佐久広域連合
五味 高明
市村 千恵子
浅麓環境施設組合
市村 千恵子
池田 るみ

森泉山財産組合

市村 千恵子
茂木 重幸

佐久水道企業団

池田 健一郎
小井土 哲雄

浅麓水道企業団

古越 弘
荻原 謙一
内堀 喜代志

北佐久郡老人福祉施設組合

井田 理恵
荻原 謙一

佐久市・北佐久郡環境施設組合

小井土 哲雄
茂木 重幸

平成30年度の収入を 500万円の家計におきかえると？

収入

前年の残り
(繰越金)
17万円 3%

貯金の取り崩し
(繰入金)
29万円 6%

借金(町債)
69万円
14%

給料(町税など)
192万円
38%

両親・親戚からの援助
(地方交付税、国・県支出金)
193万円
39%

500万円



決

算

特別会計

国民健康保険

① 19億5,809万円
② 17億9,328万円

介護保険

① 10億7,563万円
② 10億3,992万円

公共下水道

① 9億2,019万円
② 9億863万円

他に、7つの特別会計などがあります。

支出

親戚への貸付(貸付金)
25万円 5%

貯金
2万円 1%

家族への援助
(繰出金)
52万円 11%

食費(人件費)
67万円
14%

医療費(扶助費)
41万円 9%

親戚への援助
(補助費)
49万円 10%

467万円

借金の返済
(公債費)
67万円 14%

新築・リフォーム
(投資的経費など)
82万円 18%

光熱水費など
(物件費)
82万円 18%

みよたのお財布

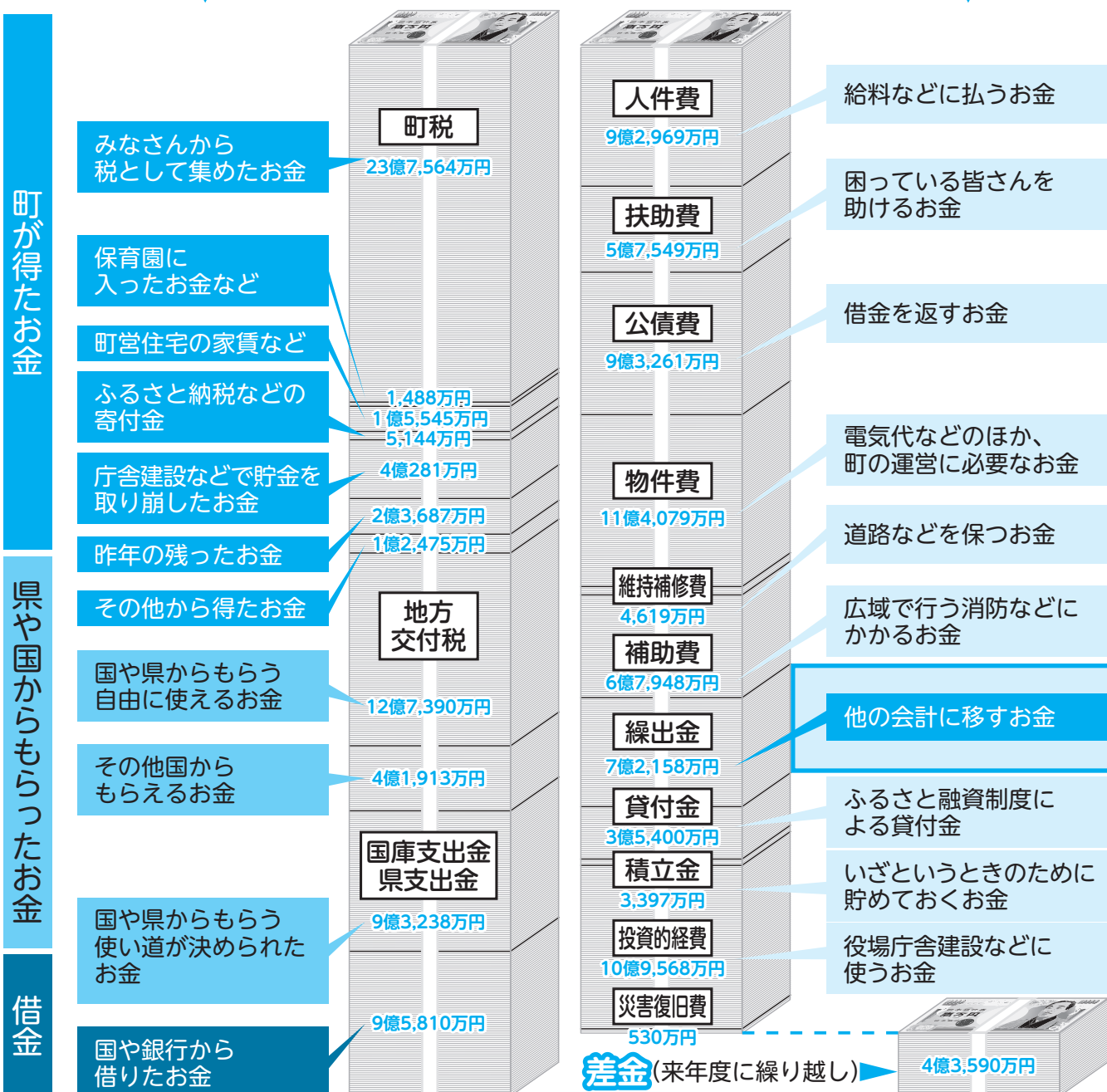
入ってきたお金
69億4540万円

一般会計

使ったお金
65億950万円

決

算



第3回 定例会

9月定例会は9月6日に招集され、9月19日までの14日間の会期で開催された。専決処分事項の報告1件、条例案7件、決算認定11件、補正予算案5件、事件案1件、人事案1件、報告3件で、町側から提出された議案26件を原案どおり承認・可決・同意した。

質 疑

Q 一般廃棄物処理料8千777万円は、昨年より若干減少している。

今年度雑紙の分別を勧めていくがその効果は。

A 平成30年度の処理量は1千565トンである。

今年度8月末の比較では500キログラム減少している。調査では雑紙の混入率が減少しており、効果がみられる。

Q 新クリーンセンター整備補助金は1千524万円だが、これまでの負担金合計額と工事の進捗状況は。



建設進む新クリーンセンター

A 平成26年度から29年度までの合計額は9千440万円である。

月末で35・5%、来年度3月末で83・9%である。稼働は令和2年12月を目指している。

Q 介護保険給付費が9億3千526万円と

毎年増加している。資料によると地域包括支援センターの利用も毎年800件ほど増えている。その相談内容は。

A 相談内容は介護保険、予防事業など生活全般、また要援護者の実態把握、権利擁護、後見人制度などに関するものである。

本人の状況、希望するサービスに応じて各保険、事業の申請及び取りつぎ、プランの作成や調整を行っている。

Q フォトフェスティバルの総事業費、企業協賛負担金200万円の内訳は。

A 総事業費は国の補助金、協賛金などを財源に7千万円を計画している。



フォトフェスティバル オープングレセプション

企業協賛負担金は、500万円を予定している。現在モレスキン社他4社200万円が確定している。

Q プレミアム付商品券事業補助金2千250万円が計上されているが、その対象者数と現在の申請状況は。

A 対象者数は最大4千200人で見積もっている。現在申請者は30名ほどで、12月27日まで申請できるので周知していく。
第1回の販売日は、10月14日を予定している。

議案名等	議員名簿	出席者数	賛成	反対	退席	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
							内堀喜代志	荻原謙一	茂木重幸	古越雄一郎	池田るみ	井田理恵	徳吉正博	仁科英一	池田健一郎	古越弘	笹沢武	市村千恵子	五味高明	小井土哲雄	
議案第66号	御代田町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案について	13	12	1	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
議案第67号	御代田町保育料徴収条例の一部を改正する条例案について	13	12	1	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
議案第68号	御代田町工業振興条例の一部を改正する条例案について	13	12	1	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—

※可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、同…同意、採…採択

※議長は採決に加わりませんので、「—」で表示します。（議長 14番 小井土哲雄）

■全会一致の議案など

専決処分
専決処分事項の報告について(令和元年度御代田町一般会計補正予算第3号) 桜ヶ丘町宮住宅の上水道給水ポンプの故障に伴い、更新するもの。
条例の改正等
御代田町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例案について 常勤及び非常勤特別職の報酬等のあり方について議論を深めるため、審議会の所掌事項などを変更するもの。
御代田町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例を制定する条例案について 来年4月から始まるフルタイムの※1会計年度任用職員制度に対応するもの。
御代田町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例を制定する条例案について 来年4月から始まるパートタイムの※1会計年度任用職員制度に対応するもの。
御代田町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案について 消防団員の要件において、成年被後見人等の制限を緩和するもの。
決算認定
平成30年度御代田町一般会計・各特別会計・企業会計の決算認定について 全体像:4~5ページ、質疑:6ページ、委員会審査:16~17ページ
予算
令和元年度御代田町一般会計・各特別会計補正予算案について 質疑:6ページ、委員会審査:16~17ページ
その他
監査委員の選任について 議会選出の監査委員の選任において、議会の同意を求めるもの。
令和元年度ペットボトル圧縮梱包機購入契約について 井戸沢一般廃棄物最終処分場で使用する機械の購入契約を締結するもの。
専決処分事項の報告について 小田井地区ほ場内の農道における車両損傷事故に係る損害賠償について 給食配送車運転中に駐車車両と接触した事故に係る損害賠償について 事故について示談が成立し、補償するもの。
平成30年度御代田町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 財政の健全性について、監査委員の審査に付した上で報告するもの。

用語解説

※1 会計年度任用職員制度…働き方改革・同一労働同一賃金の実現の一環として、公務における有期雇用の職員(いわゆる臨時職員)が、令和2年4月1日から「会計年度任用職員」となる。
1回の任期は最長1年で、フルタイム勤務には退職手当が支給されるなど、身分保障や給与、手当などについて法改正がなされた。

監査報告（抜粋）

泉 喜久男
笹沢 武

平成30年度決算審査の結論は 「正確かつ適正であると認めた」

【決算審査の所見】

事務の合理化について、数年前から総務省では自治体業務の標準化・効率化を志向しています。われわれは、それ以前に身の回りの事務の合理化に努めたらいかがでしょうか。毎年支払関係の伝票は2万点を超えています。決算審査で関係伝票を見ていると首をかしげるものが少なくありません。それぞれの伝票には関係者の捺印があり、その事務量は膨大な量ではないでしょうか。これを少しでも減少させる努力を

することも大切ではないでしょうか。

例えば、町関係のいろいろな施設の水道料は、少額であっても毎月支払手続きがなされています。町の水道条例第26条第3項では、別荘等については年2回の検針と支払が求められています。

庁舎、教育委員会は勿論、保育園、児童館等については何ら滞納の恐れもないので、別荘等に準じて年2回の検針に改めることで、各施設の請求と支払事務は6分の1になります。

このためには関係条例の一部を改正する必要があります。町関係のものも、事務の合理化効果は将来的に得られるのではないのでしょうか。

過去に毎月払いの経費を数か月まとめてもらうよう改めたことあります。

総務省の目標では、総合窓口の新設やシステムの共同利用等高度のものも少なくありませんが、われわれは、今少し身近な面での事務の合理化を志向したらいかがでしょうか。

表紙の写真

浅間国際 フォトフェスティバル

9月14日から11月10日の58日間にわたり、浅間国際フォトフェスティバルが開催されています。

会場は、旧メルシャン軽井沢美術館。各区の公民館などに作品が展示され、アートが身近なものとなっています。

10月26日、27日は町民デーで、町民は入場無料となります。芸術の秋、アートと自然が溶け合う異空間を味わいに出かけてみてはいかがでしょうか。

9月定例会の傍聴者は39人



議会傍聴においでください

傍聴は、役場3階の議会事務局にある受付簿に住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次の定例会は12月予定です



古越 雄一郎 議員

河川の管理と保全は

住民からの要望に対して迅速に対応

問 河川の氾濫が各地で増加している中、当町の線矢川の荒廃が不安である。町として町内河川の実態調査は。

答 建設水道課長 河川は洪水などによる災害の発生を防止し、公共の安全を保持するよう適性に維持管理を行わなければならない。

一級河川は国、二級河川は県、準用河川は市町村が河川管理者と河川法で定めている。当町の一級河川は湯川、濁川、線矢川であるが、信濃川水系の支流であるため、県知事

が河川責任者となっている。佐久建設事務所内の河川巡視員と地域の河川モニターが定期的に巡視調査している。県からの報告はきていないが、河川を見ても草木が繁茂したり、土砂が堆積したりしている状況は確かにある。住民からの要望に対し町が確認をして迅速

に県に報告し、改修対応をする。

問 生活用水、農業用水の保全是。産業経済課長

水利権者、受益者、地元区で管理している。各区からの要望には、町として全面的に対応する。

問 後期高齢者の3年後の人口動態と財政状況は。企画財政課長

75歳以上の人口は、30年度と比較して11・3%増加。医療繰出金は19・8%の大幅増加の見込みである。

問 高齢化による地域力低下対応は。総務課長

定期的な開催している区長会で協議対応。区の自主性を尊重して積極的に公助の役割を推進する。

問 危険箇所について、PTAと連携し、関係機関に修繕の要請をしている。既存のフェンス、ガードパイプの状況を再点検し、早急に改善する。

問 危険箇所について、定期的な安全指導について、定期的な全体指導も大切だが、通学路別に個別指導の対応を。

問 危険箇所について、定期的な安全指導について、定期的な全体指導も大切だが、通学路別に個別指導の対応を。

問 危険箇所について、定期的な安全指導について、定期的な全体指導も大切だが、通学路別に個別指導の対応を。

問 危険箇所について、定期的な安全指導について、定期的な全体指導も大切だが、通学路別に個別指導の対応を。

問 危険箇所について、定期的な安全指導について、定期的な全体指導も大切だが、通学路別に個別指導の対応を。

問 危険箇所について、定期的な安全指導について、定期的な全体指導も大切だが、通学路別に個別指導の対応を。

問 危険箇所について、定期的な安全指導について、定期的な全体指導も大切だが、通学路別に個別指導の対応を。



草木が繁茂した線矢川



この場所には不安なガードパイプ



池田 健一郎 議員

公共交通に対する町長の考えは

新交通システム検討委員会の結果を尊重

問 駅北駐車場の現在の利用状況は。

答 企画財政課長 135台の駐車が可能で、内42台が月極駐車である。現在、保健福祉課が利用していた約20台分が利用可能となった。

問 駅前駐車場、龍神の杜公園駐車場の長時間駐車が長い。

答 企画財政課長 今後、広報などで対応する。

問 町長の公約に駅周辺のバリアフリー対応やエレベーターの計画は。

答 町長 駅前の活性化の目的で、複合的な駅の再整備を検討し、高齢者、障がい者の利便性を図るために、優先的に調査研究を進める。

問 町長の直轄の組織に新交通システム検討委員会は、

答 町長 直轄は検討するが、検討されてきた中身は大変重要で、注視尊重していく。交通問題は一筋縄ではいかない。



改修が望まれる駅前

問 バス路線の検討は。

答 企画財政課長 路線は現行のまま。現在4便運行しているが、10月1日より

減便の申し入れがあるが、高校生の通学の足は確保する。

問 新交通システム検討委員会は、

答 町長 直轄は検討するが、検討されてきた中身は大変重要で、注視尊重していく。交通問題は一筋縄ではいかない。

問 高齢者の運転補助器具の購入補助は。

答 企画財政課長 保健福祉課と協力調査して、当町にあった補助体制ができるか検討する。

野良猫の不妊去勢手術の費用補助は事業効果を見極め調査研究

問 野良猫の実態は。 (現在は飼い主のいない猫と呼ぶ)

答 町民課長 現在、把握できる状況はない。

問 平成25年度には全国で10万7千頭も殺処分されている。不妊去勢手術の費用補助の考えは。

答 町民課長 近隣市町などの事業効果を見極め調査研究していく。

問 野良猫の寿命は3年〜4年と非常に短命だ。伝染病などを回避するような対策が必要だが。

答 町民課長 飼養猫を敷地外に出さないよ

問 野良猫の不妊去勢手術の費用補助は事業効果を見極め調査研究

答 町民課長 給餌は違法ではなく、罰則による規制は難しい。

問 野良猫の寿命は3年〜4年と非常に短命だ。伝染病などを回避するような対策が必要だが。

答 町民課長 飼養猫を敷地外に出さないよ

問 野良猫の不妊去勢手術の費用補助は事業効果を見極め調査研究

う飼い主に広報などで啓発していく。



猫の伝染病予防ポスター



池田 るみ 議員

問 白血病などで骨髄移植を受ける

と、予防接種で獲得した免疫が消失してしまい、ワクチンの再接種が必要となる。

しかし、保険適用外となり経済的負担が大きくなることから、ワクチン再接種の助成制度の導入の考えは。

答 保健福祉課長

平成24年9月に移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律が制定されている。

当町では骨髄ドナー助成制度を実施していることなどから、前向きに検討したい。

問 骨髄ドナー助成制度の普及啓発

は。

保健福祉課長

広報みやた7月号、町のホームページなどで周知をしている。

答

また、10月20日の健康のつどいは、「生きとるって幸せ、白血病を克服して」と題し、

全国骨髄バンク連絡推進協議会顧問の大谷貴子さんに講演をいただき、それにあわせて、ポスターの展示、リーフレットの配布などの準備を進めている。

小中学校へ防災倉庫の設置の考えは

南小学校に設置へ教育委員会と協議中

問 防災の備蓄品に、乳幼児用液体ミルクの導入の考えは。

答 総務課長 保存期間の短い液体ミルクの有効活用を調査研究して、関係機関とも協議をしたい。



3月から製造販売となった液体ミルク

問 旧役場庁舎敷地に設置をする防災倉庫を小中学校に変更するなど、小中学校への防災倉庫の設置の考えは。

答 総務課長 当町の南東部をカバーするため、南小学校の敷地内の北側に設置するように、教育委員会と協議をしている。

問 庁舎やエコールみやたのエレベーターに飲料水などの備蓄と緊急時はトイレ



3棟分の大きさの倉庫を南小に設置へ協議中

答 総務課長 各種製品の優劣など調査し、来年度の当初

予算などで設置に向けて検討したい。

問 災害時のペットへの対応の考え

は。

答 総務課長 直ちに同行避難の対応はできないが、動物病院や一時預かり施設などの災害協定について、調査検討が必要である。

問 大雨に備えて、事前にとるべき対応を時系列にまとめたタイムラインの策定は。

答 総務課長 災害ごとのタイムラインの策定は出来ていない。

ワクチン再接種の助成制度の導入を前向きに検討したい



市村 千恵子 議員

問 ごみの排出量、処理運搬費用の推移と不法投棄の動向は。

答 町民課長 可燃ごみは年々増加傾向にあるが、生ごみ、不燃ごみ、資源ごみは減少傾向にある。ごみ処理費用は、増加しており、可燃ごみの処理の増加が主な要因である。

収集運搬経費は、28年度、29年度ともに2千598万円の同額である。不法投棄の状況は、多量の投棄はなく、道端へのポイ捨ては後が絶えない。

問 雑紙袋を十字に縛らず、コンテナにあげるような方法にできないか。

答 町民課長 井戸沢最終処分場ではそのまま入れられるが、最終日曜日の各区域ではひもで縛るのが原則である。今後、業者などと協議をし、より出しやすい方法を検討していきたい。

問 ごみの減量の課題に対する施策は。

答 町民課長 本年の龍神まつりでは、マイバッグの配布でプラスチックを排出しない取り組みを行った。

た。さまざまな課題に対し、できる施策の展開を一つ一つ着実にやっていきたい。

問 ごみ袋の引き下げは。

答 町民課長 10月から消費税の値上げが予定されているが、ごみ袋の値段は据え置き、可燃ごみの大で1ロール20枚が、実質12円の値下げになる。



リユースできる紙袋

循環バスなどの新たな交通施策の検討は

方針を頭の中で整理している段階

問 交通施策としての循環バスの検討は。

答 町長 町政の課題が山積している中で、これのみを具体的に検討を進めるのはなかなか難しい。私自身がどのようにやっていくのかという方針を頭の中で整理している段階である。

問 高齢者ドライバーへの後づけの急発進防止装置に対する補助の考えは。

答 企画財政課長 具体例を調査、研究して、保健福祉課とも協議をし、検討していきたい。

問 町長公約の駅ホームのエレベーターの設置や北口の 신설、駅施設の充実の進捗状況は。

答 企画財政課長 エレベーターの設置だけでも多額の費用がかかり、補助金が見込めない状況ですぐ実施できる状況ではない。

町長 駅前再開発、駅の北口は、いろいろ変数の大きい状況の中で多角的に検討している。

方針や具体的な策を考えていくということで、御理解いただきたい。



エレベーター設置が望まれるホーム

ごみの減量化の課題に対する施策は できる施策の展開を一つ一つ着実にやっていく



井田 理恵 議員

ざつがみ 雑紙分別の周知とごみ収集回数調整は

使いやすい方法を検討し調査研究

平成30年度決算の評価と課題は

企業誘致は進展したが

ふるさと納税は減

教育次長 学習指導要領では学

科で、生活基盤を支える重要な学習として、下水道やごみ処理についての知識を学ぶこととなっている。

教育委員会発行の「私たちの御代田町」を活用し、ごみについては井戸沢処分場など事前学習も含め社会科見学をしている。

教育長 当町は下水道について、学習帳の絵図で、水源を理解している状況だ。

自身の眼で確かめ、覚え、理解する感動体験は大事だ。見学を組み合わせたい。

前町政を引き継いだ理事者としての30年度決算の評価と課題は。

町長 (株)ひらま つなど企業誘致が進んだ一方、ふるさと納税は前年比2千万円程の減となった。

一アルの具体策など、できる改善をおこなう。なお、監査委員からの指摘は、全職員で認識・理解し次に繋げることが重要と考える。

雑紙分別用の

見本紙袋の理解がまだ進んでいない。更なる周知と工夫を。

町民課 長 広

報に努め、使いやすい方法を検討する。

家族が増える

年末年始やお盆時期の収集日増の希望に対し、不燃ごみの収集回数など調整するのはどうか。

町民課長 調査研究したい。



当番でごみ出しを見守る

小学校4年生での社会科学学習に、環境教育に資する生活インフラの単元がある。

上水道配水池や水源への現地学習は重要だが現況は。

町民課長 調査研究したい。

町の現状の認識と課題を整理し、ふるさと納税のリニュー



旬の新鮮野菜セット

有効な廃棄物処理へ向け、ごみ

処分の現況から住民に協力を願うことは。

町民課長 今年8月の可燃物の

組成調査では、資源ごみ混入率は16.27%で昨年比6.64ポイント減となった。主な内訳はプラ2.71%、雑紙9.04%だ。

処分経費は、この雑紙9%を年間1千565tから除ければ約140tが資源になり196万円の収入だが、そのまま可燃では711万円の支出となっており、91万円の損失となるため、町民に今後も協力を願いたい。

―町村議会議員のあり方と

定数・報酬をめぐる論点―

長野県町村議会議長会議員研修会
7月29日 下諏訪総合文化センター

「町村議会議員のあり方と定数・報酬をめぐる論点」という題で明治大学教授の牛山久仁彦氏の講演があった。

多様な民意を的確に反映するために、必要な報酬と定数を確保すべきであるためには、住民に身近な、より開かれた議会であることが重要とのことである。

次に滋賀大学客員研究員の提中^{だいなか}富和氏の「条例の読み方・政策条例の考え方」の講演では、条例は問題を解決するために立法したものだから、その



成果が出ているかどうか検証するための仕組みを作ることが必要とのことである。

今回の研修では、議会が行政監視や政策立案といった機能を拡大し、それを住民に説明する努力が必要であることを痛感した。

市村 千恵子

―広報広聴常任委員会

視察研修―

9月25日 町村議会広報研修会
26日 群馬県千代田町議会



1日目は、東京のシェーンバツハ・サポーにて全国町村議会議長会による広報研修会に参加した。読者目線で作る広報紙作成のポイント、編集体制、企画・編集、記事内容の分析など具体例を使ってわかりやすい解説だった。

2日目は、群馬県千代田町の議会を訪問して、議会報告会、各種団体との意見交換会、子ども議会の説明を受けた。質疑応答では、互いに活発な意見交換を行い有意義な研修となった。

特に子ども議会について、興味深い内容が多くあったので、今後の広報広聴活動の参考にしたい。視察研修に参加して、広報広聴常任委員会の課題解決のヒントがありそうなので、今後の活動に活かしたい。

広報広聴常任委員長

荻原 謙一

―科学の期間限定性と無常観―

佐久市・軽井沢町・立科町・御代田町
議会合同研修会
9月30日 佐久平プラザ21

佐久市立国保浅間病院事業管理者村島隆太郎先生の演題「科学の期間限定性と無常観」で講演が始まった。

医師などの医療従事者は科学に基づいた理論のみで治療を進めるだけでなく、患者自身が「どれだけ自分を助けてくれようとしているか」を感じさせる話し方、接し方が大切であるとのこと。



議員活動においても同様で、法律や条例での切り分けだけでなく、住民の切実な願いを真摯に受け止めて、改善策につなげるといった日々の努力が大切と考えた。

内堀 喜代志

(審議内容の一部を掲載しました。)

現金納付の50%がコンビニ収納を利用

総務福祉文教常任委員会

条例改正

町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例案で、委員は町長の任命だが、委員の構成は。

A 委員構成は7名で、事務局で考えているのは、企業、金融機関、官公庁、区長、団体職、教育関係職、商工業関係の代表である。

平成30年度一般会計決算認定

旧保健センター、旧保健福祉課の建物の貸付料の取り扱いは。

A 光熱水費は全額雑入で処理し、使用料は財産貸付収入に含まれる。また、賃料の発生は使用開始時点からの徴収となる。



旧保健センター、旧保健福祉課

小中学校のパソコン借上げ料の契約内容は。リースとのことだが買い取ったほうが得ではないか。

A 北小学校32台、南小学校38台、中学校41台。5年間のリース契約で対応している。

リースは財政的に平準化を図ること、動産保険付きなので火災、落雷、盗難など不慮の事故対応のメリットがある。



パソコン教室

コンビニ納付は、住民サービスでも良いが、徴収や収支のバランスは。

A 30年度からコンビニ収納を開始。約4万件の現金納付のうち50%の方がコンビニで納めている。

費用対効果の面ではコンビニ納付は若干不利な点はあるが、利便性の向上と納税環境を整えて滞納等の理由付けを減らすことを考えている。

令和元年度一般会計補正予算

町勢要覧作製で、5年ごとというものは。

A 来年度発行して、その後の間隔については5年では長いと思っている。

理事者、議会構成が変わったり、町内の状況も変わってくるので、何年が妥当なのか検討していきたい。

消火栓設置工事の消火栓口径は。

A 町営グラウンド北側の本管から南側へ、75mmの管を概ね100m布設する。

消防の基準水利を満たしており、隣接の学校や福祉施設等を十分に網羅する。

令和元年度国保会計補正予算

基金積み立てに1億円となっているが、前年度で2億円を積み立てた。

今後の保険料をどのように考えているか。

A 今年の11月中旬から下旬に示される、県への納付金の結果を踏まえ、税率改正の検討を行う必要があると考えている。



委 員 会

幼児教育・保育無償化が始動

町民建設経済常任委員会

条例改正

御代田町保育料徴収条例の一部を改正する条例案で、無料になる保育料の総額は。

A 試算では約2千万円である。

平成30年度一般会計決算認定

中山間地域直接支払制度補助金の内容と内訳は。

A 塩野の組合で取り組み中の事業で約38haの田と用水路維持への補助で、県と国2分の1ずつの負担である。

多面的事業支払い交付金との関連は。

A 重複するものもある。中山間地域直接支払制度補助金は田のみ、多面的事業支払い交付金は農地全体の補助となる。

保育園運営事業費の不用額が多いと見受けられるが。

A 臨時職員の賃金及び保育賄材材料費が大半を占めており、読めない部分が多かった。

また、正規職員が不測の事態で勤務できない場合に備えていた。



保育園運動会

非常勤職員の報酬について、勤務時間や効果は。

A 佐久保健福祉事務所の保育専門員に週2回の勤務を要請し、保育士の指導や助言を行い効果があつた。

可燃ごみが増加傾向であるが草木の処分場を町で用意する予定は。

A 候補地なども含め検討中である。

ファミリーサポートセンター委託事業の実績と効果は。

A 託児、通学や塾への送迎などの利用がある。

30年度実績は、登録利用者が53名、支援登録者が91名だ。合計1千218件の利用があつた。

そば耕作者補助金の刈り取り面積は。
A 30年度実績は29haで、29年度は24ha、28年度は26ha、27年度は29haと横ばいとなっている。

クラインガルテンの指定管理への意向は。

A 利用者の相談員を中心に、NP
O 法人設立を検討している。

令和元年度一般会計補正予算

道路除雪経費の増額は、除雪の待機費用ということであるが、除雪の待機は毎年実施しているのか。

A 今まで降雪時には除雪業者が無償で待機をしていたが、県と同様に情報員待機補償費などを計上してほしいとの要望で、理事者と協議し計上した。



除雪作業

みんなの声

成人を迎えて



成人式実行委員

しばた 鈴美さん
(桜ヶ丘)

私は今年成人という節目を迎えました。成人になり、大人になったという実感はまだあ



りませんが、自身に責任が問われる年齢となりました。私が過ごしてきた20年間はとても楽しく、いつも笑顔だった気がします。それは家族、地域の方々、友人が近くで支えてくれていたからだと思います。

私は現在学校に通っており、まだ社会に出ていません。ですが、学校ではあいさつしたり、提出物をしっかりと出したりなど、当たり前前のことをしっかりと行い社会に出たときに活かせるようにしていきたいと思っています。

また、自分の行動や言葉に責任を持ち、常識を身に付けた大人になりたいと思います。



編集後記

9月28日に行われたラグビーのワールドカップ日本大会1次リーグで、優勝候補のアイルランドを破り、日本が歴史的勝利をしたことは、日本人に夢と感動を与えてくれました。

時が経つのは早いもので、9月で議会活動も2年間が過ぎました。

今後も町民の声に耳を傾けて、謙虚な気持ちを忘れずに、読者目線で読みやすい広報紙を目指し、開かれた議会に向け前進したいと思います。

荻原 謙一

広報広聴常任委員会

委員長 荻原 謙一
副委員長 内堀喜代志
委員 市村千恵子
仁科 英一
井田 理恵
池田 るみ
古越雄一郎
茂木 重幸